

## 第 12 講 イギリス革命・アメリカ独立革命

- ① 次にあげるイギリス王朝を年代順に並べ替えなさい。  
①ステュアート朝 ②プランタジネット朝 ③テューダー朝 ④ノルマン朝 ⑤ハノーヴァー朝  
④→②→③→①→⑤
- ② 正しい文章に直しなさい(3点)  
ジェームズ 1 世は、カトリックを強制し、王権神授説を信望したことで議会と対立した。さらに、その子チャールズ 2 世の時は議会から提出された「権利の章典」を無視したことで議会と対立した。  
カトリック→英国教、チャールズ 2 世→チャールズ 1 世、権利の章典→権利の請願
- ③ピューリタン革命について正しく述べた文を選べ。  
①ピューリタンとは、カトリックの一派のことである。      ②国王は議会と妥協し、マグナ=カルタを承認した。  
カルヴァン派の一派      時代が違う  
③クロムウェルはピューリタンを弾圧した。      ④この革命の結果、共和政が成立した。  
彼がピューリタン      正解
- ④ 正しい文章に直しなさい(3点)  
17 世紀半ば、独立派を追放し国王が処刑されたイギリスでは、航海法が公布され、フランスとの戦争を引き起こした。その後、護国卿に就任し、カトリック的な独裁政治を敷くが、死後に王政が復古することとなった。  
独立派→長老派、フランス→オランダ、カトリック→ピューリタン
- ⑤ イギリスの王政復古～名誉革命に関する文として、正しいモノを1つ選べ。  
①ジェームズ 2 世で王政が復古した。      ②議会は印紙法を公布し、国王に対抗した。  
チャールズ 2 世が王政復古      審査法  
③革命により、新国王をオランダから招いた。      ④革命後にスコットランドが分離独立した。  
正解      併合した
- ⑥ アメリカ独立戦争の背景に関する文として、正しいモノを1つ選べ。  
①本国による重農主義政策に対抗した。      ②フレンチ=インディアン戦争以降に独立気運が高まった。  
重商主義      正解  
③植民地人は茶法を公布して対抗した。      ④大陸会議で独立戦争への弾圧が決定した。  
茶法は本国が公布      独立戦争をすることが決まった
- ⑦ 次の事項について、年代順に並べ替えなさい。  
①ボストン茶会事件      ②独立宣言      ③ヨークタウンの戦い      ④合衆国憲法制定  
①→②→③→④

